

主催：大分県 / (一社) 大分県建築士事務所協会

BIM 実践セミナー

協力：福井コンピュータアーキテクト株式会社 / 株式会社 古城

BIMモデル

最新の活用例と今後の展開

BIMモデルに与えられる情報の価値とは？

参加費無料

会場

2020年 2月 28日 [金]

開催時間 / 14:00~16:00 (受付開始/13:30~)

大分スポーツ公園

開催場所 / 昭和電工ドーム大分 B1-406会議室

住所：〒870-0126 大分市大字横尾1351番地 TEL：097-528-7700

地図



お問合せ：大分県土木建築部施設整備課技術管理班 TEL 097-506-4707
(一社) 大分県建築士事務所協会 TEL 097-537-7600

Seminar①

14:00-15:00

BIM概要と今後の展望

～本格的BIM時代を見据えた今後の取組み～

「BIM」の活用範囲は広く、世界各国で様々な目的や内容で活用されています。国によって、設計手法や発注方法などに違いがあるため、「BIMシステム」も独自に進化しています。日本の設計・施工においても、独特のルールや手法が存在します。

そこで今回は、作成されたBIMデータを、設計・施工時の活用にとどまらず、改修や維持管理・資産管理など、建設からファシリティマネジメントまで、幅広く活用できるBIMシステムを使って解説します。

講師 福井コンピュータアーキテクト 株式会社 J-BIM推進課

Seminar②

15:10-16:00

FMを中心とした BIMの取組みと今後の展開

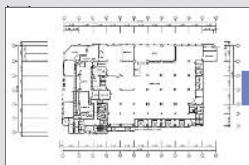
BIM initiatives centered on FM and future developments

～ファシリティマネジメントに役立つBIMモデル～

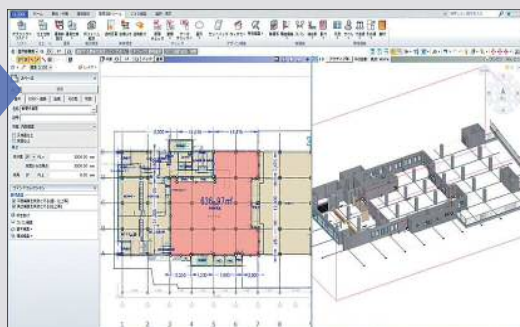
日本郵政株式会社施設部は、グループ所有施設約5,000施設の維持保全・管理業務を行っています。これら施設群のファシリティマネジメントに役立つBIMモデルの構築と業務への取組み状況、さらに現状の課題と今後に向けた展開について事例を挙げてご紹介します。

BIMのFM活用事例（現況図BIMモデル）

現況



現況図 BIM 現況図情報をもとに、必要最低限のBIMモデルを構築



- ①情報が一元化されている
 - ・各階の面積が正確
 - ・賃貸借情報が正確
 - ・主要な部材情報が正確
- ②ビジュアルにこだわらない
 - ・階高情報は無い
 - ・設備情報は無い
 - ・日常のメンテナンスで不使用の部材情報は無い

講演者

日本郵政株式会社
不動産部門 施設部 施設保全グループ
担当部長 土田 真一郎氏



お申し込み

案内にありますURL <https://forms.gle/duAJ9uqiaZkEJNcH7> から直接お申し込みができます。

※FAXでお申し込みを希望されるかたは、協会までご連絡ください。

締切：2月25日（火）

お問合せ

大分県土木建築部施設整備課技術管理班 TEL 097-506-4707
(一社) 大分県建築士事務所協会 TEL 097-537-7600

CPD

2単位の予定